



「JTCO ニュースレター」～活動内容のお知らせ～

vol.39 2022年5月9日発行 発行 NPO 法人 日本伝統文化振興機構
東京都港区愛宕 1-3-2

平素は、NPO 法人日本伝統文化振興機構(JTCO)の活動にご理解とご支援を賜り、御礼申し上げます。

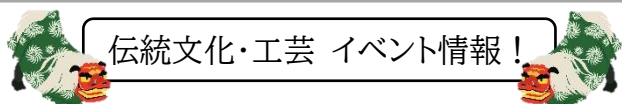
≪【新漆産業の事業開発レポート】～JTCO 支援事業～≫

2019年に漆研究のために岩手県二戸市浄法寺町を訪問して、二戸市漆産業課の方々からは漆の種苗から育林などのお話をお聞きし、又漆描き職人の方からは漆描きの日常作業現場を見させていただき、そして漆塗り職人の方からは漆器が商品になるまでの説明を受けました。このプロジェクトはここから始まりました。

日本の漆の生産地といえば岩手県二戸市浄法寺です。浄法寺の漆生産量は日本の漆の全生産量の70%を生産しています。日本の漆の生産量は、その年の天候などの気象条件により多少異なりますが、大体1,7トンから2,0トンほどです。「漆の生産量」とは、漆木から漆描き職人が採取する漆樹液の量を言います。浄法寺の生産量は日本全体の70%を誇りますが、全消費量では5%程度です。日本の漆の全消費量の95%は中国からの輸入です。浄法寺で生産される漆は殆どが生漆で県外に出荷され、県外の漆業者によって「なやし」や「くろめ」工程を経て精製され、「国産漆」「浄法寺漆」として販売流通しています。

私たちの「新漆産業の事業開発プロジェクト」は、漆生産量が日本一の浄法寺で「減圧蒸留法」で漆精製する事業です。その目的は、衰退の一途をたどる漆産業と伝統工芸産業にイノベーションを起こし、二戸地域、浄法寺地域の地域振興を図ることです。この事業ではこれまでに次の成果を上げています。(1)漆成分の活性が高い黒目漆の精製(高品質漆を精製する技術)法を確立しました。(2)再現性(漆成分分析によって成分を表示します)の高い黒目漆の精製技術を確立しました。(3)健康配慮型(テレピン油の除去)の精製技術を確立しました。(4)カラフル漆の精製技術を確立しました。

2022年5月に岩手県奥州市の「いわて漆テック奥州市漆研究所」に漆を精製する実験器機を導入し、事業化の準備に入ります。※この漆精製についてのお問い合わせ先:いわて漆テック株式会社(下記 JTCO にお問い合わせください。)



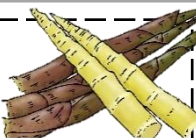
伝統文化・工芸 イベント情報!

「With コロナ」として、徐々にイベント開催も復活してきています☆
感染対策は十分にしながら、盛り上げていきましょう!

- 和歌祭り 四百年式年大祭 [和歌山県] 5/15(日)
<http://wakamatsuri.com/> <今年は創始400年! >
- 和菓子手作り体験 [大阪府] 5/15(日)
<https://bit.ly/3ODa3Zh> <点茶も体験できます>
- ながい黒獅子まつり [山形県] 5/21(土)
<https://bit.ly/3Ldjug9> <複数の獅子が会し迫力満点>
- MIKAGE PROJECT LIVE2022 [東京都] 5/28(土)
<https://bit.ly/3xVSPAJ> <民謡新時代! >

季節の郷土料理

[根曲がり竹の豚肉炒め](青森県)



- ◆材料(2人分):根曲がり竹 6本、糸こんにゃく 1袋、薄切り豚肉 4枚、しょうゆ 適量、酒 適量、サラダ油 適量

5月から6月にかけて旬を迎える「根曲がり竹」を使った炒め物です。一般的に食用の竹といえば「孟宗竹」の筍ですが、根曲がり竹は「チシマザサ」という笹の若竹です。山陰では「姫竹」や「姫筍」と呼ばれています。細長い形状をしており、えぐみが少なく、歯触りが良いのが特徴です。産地が限られており、旬も短いため珍しい食材です。

→作り方や詳細はこちら <https://bit.ly/3Kpxz97>

※伝統継承に向けて※ ～「伝統産業」継承の問題とその解決への取り組みを探る その一～

伝統産業の大きな課題「伝統継承」。その解決に向けて、工房や企業と職人希望の方々をマッチングするサービスもいくつか出てきています。しかし、継承問題は単純に「後継ぎとなる人物がいらない」という問題だけではありません。なぜ後継ぎがいらないのか? その点を解決しなければ、職人希望者と工房や企業を結びつけるスタート地点に立つことができません。問題の起点として、やはり、価値観や生活スタイルの変化により伝統工芸品が売れなくなっていることが大きな要因でしょう。後継ぎを育てたくてもそのための資金がないからできない。職人希望者がいても生活が成り立たないから薦められない・雇えない。終身雇用制度が崩れてきている現在、職業として「職人」を希望する人は一時期よりも、わずかずつですが増えてきています。このコーナーでは次回から、総合的な視点で行われている伝統継承をサポートする取り組みをいくつか紹介していきたいと思えます。

情報発信・工芸品の販売・JTCO 会員入会・その他記載内容についてのお問い合わせ先(事務局・広島)

MAIL:info@jtco.or.jp TEL:082-230-0243 FAX:082-230-0263(発行責任者:及川 秀悟)